

APE/XRモタードバッテリーキット取扱説明書

商品番号:09-00-0022

09.11.14 1/3

適応車種	・Ape50	AC16-1000001~1599999
フレーム号機	・Ape100	HC07-1000001~1599999
	・XR50モタード	AD14-1000001~
	・XR100モタード	HD13-1000001~

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川**
 ホームページアドレス <http://www.takegawa.co.jp>
 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16
 TEL(0721)25-1357 (代)
 FAX(0721)24-5059

■ご使用前に必ずお読み下さい■

- ◎ 取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎ この製品を取付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎ 商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎ 他社製品との組合せは保証対象外になりますのでご遠慮願います。

このたびは、TAKEGAWA商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

■注意

この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・点検、整備は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジン、マフラー(エキゾーストパイプ)などの、高熱を発生する場所にコードが接触しないよう配線の取り直しには十分気を付けてください。またステムなどの可動部分において、コードが引っ掛かる、挟まるなど配線が断線してしまう恐れがありますのでよく確認してください。
- ・一般公道では、法的速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
- ・取り付け後も必ず定期的に点検してください。
- ・取り付け作業、点検作業は走行直後などエンジンの熱くなっている状態では行わないでください。(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)

■警告

この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・本製品の取り付けは運転に支障がないように、配線の取り直しなどに気を付け、確実に行ってください。
- ・取り付けたあとも液漏れや配線を定期的に点検してください。
- ・走行中に異常が発生したと思われる場合はすぐに車両を安全な場所に停止し、異常箇所を点検してください。
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。又、酸化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

- ◎ 商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対して、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。ただし交換工賃等の本製品以外の一切の費用は対象となりません。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
- ◎ この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。
- ◎ 性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品及び価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
- ◎ 補充電によって回復するものはクレーム対象外になります。
- ◎ 車両自体の原因による場合、(レギュレーターの設定電圧が基準値を超えて過充電となった場合なども)保証は適用されません。



注意

- ・この商品にはハンダ付けが必要な箇所があります。ハンダ、ハンダゴテをご用意ください。
- ・バッテリーの電圧測定、管理をする為サーキットテスターをご用意ください。
- ・DCホーンの取り付けはできません。



警告

※ 小型シールタイプバッテリー専用充電器をご使用して下さい。

容量が少ないバッテリーなので、一般開放型バッテリー用充電器で充電するとオーバー充電になりやすい為、破損や爆発する危険性があります。必ず小型シールタイプバッテリー対応充電器が必要です。

商品内容

番号	部品名	数量	リペア品番	数量
1	バッテリーハーネス	1	090-00-0037	1
2	緑50mmサブハーネス	1		1
3	黒210mmサブハーネス	1		1
4	赤210mmサブハーネス	1		1
5	赤1100mmサブハーネス	1		1
6	バッテリー12V 1.3Ah	1	090-00-0036	1
7	サブハーネス 12V1.3Ah用 赤	1		1
8	サブハーネス 12V1.3Ah用 黒	1		1
9	バッテリーボックス	1	090-00-0035	1
10	クッションゴムA	1		1
11	クッションゴムB	2		2
12	バッテリーバンド S	1	090-00-0034	1
13	タイラップ	5		

※ 補修パーツは上記リペア品番にてご発注ください。また、単品出荷できない部品もありますのでセット品番にてご注文下さいませます様をお願いします。値段は変更する可能性があります。ご了承下さい。



警告

※ ヘッドライトOFFで使用しないで下さい

ヘッドライトを消して走行すると、バッテリーが過充電になり、バッテリーが破裂、液漏れ等起こします。車両側レギュレーターも故障します。レース等で使用する場合、レギュレーターと車両ハーネスはつなげないで下さい。

純正部品の取り外し

● メインキーの取り外し

- XRモーターの場合フロントカウル両サイドのスクリューを取り外し、ヘッドライトやホーンの配線カブラを外し、フロントカウルを車両より取り外します。
- Apeの場合ヘッドライト下2ヶ所の+のスクリューを取り外します。
- メインスイッチの配線カブラを取り外し、車両よりメインスイッチを外します。
- 写真の矢印部分に爪がありますので、細いマイナスドライバー等で押してメインスイッチを取り外して下さい。

※メインキーの爪部分は無理に外すと折れてしまうので、破損にはご注意ください。

矢印部分に爪がありますので、細いマイナスドライバー等で押し出して、メインスイッチを取り外して下さい。
(簡単には外れない構造になっています。)



メインスイッチ
(正面から見)
2ヶ所ツメがあります



(写真1) 写真はXRモーター、裏側から見たものです。

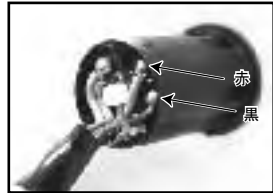
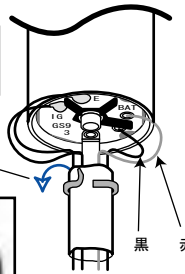
メインキーの加工

● APE, XRモーターでは、全ての電装系を交流電源で作動させている為、キーONでつながる配線がありません。よってバッテリーを積む為にはIGキーを加工して下さい。

- 取り外したメインキーを加工します。
- キット内付属の配線④黒、③赤、共に片側のみ先5mm程度被覆だけを切り、中の銅線をむき出します。
- 純正ハーネス、緑と黒/白を止めている金具をラジオペンチ等で開き、黒色保護チューブの中にキット内付属の配線④黒、③赤、二本をチューブ内に通す。
- 先に黒色配線をHOの位置にハンダ付けする。
- 次に赤色配線をBATの位置にハンダ付けする。
- ハンダ付けが終われば、キーONの時に赤色配線と黒色配線が導通状態になり、キーOFFの時に導通がない状態が確認して下さい。
- 問題が無ければ、金具を戻しハーネスをかかして下さい。

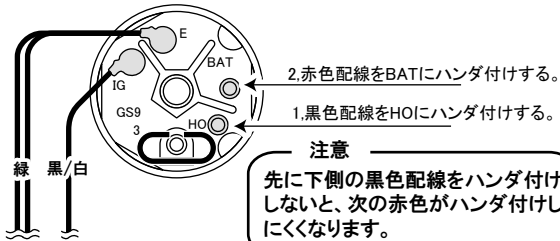
赤色 → バッテリーへ
黒色 → キーON時 +12V

配線カバーを止めている、金属金具をめくり上げ、カバー内に赤と黒色配線を入れる。



ハンダ付けをする時のポイント

取り付けたい場所(キー側金具)にハンダを溶かし少量付けておく。次に取り付ける物(配線)側を温め配線にハンダを当て溶かす事で配線内銅線1本1本の間にハンダが染み込むように付着させます。最後にハンダ付着部分と配線を重ねハンゴテで熱し付着させる。



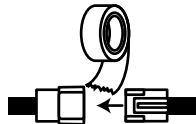
ハーネスの取り付け

● キット内付属のハーネスを車両ハーネスに組み付けます。

- ノーマルのカブラをレギュレーター/レクチファイアから取り外し、レギュレーターハーネスを割り込ませる形で接続して下さい。
- アースハーネスを先にバッテリーに取り付けてください。
- 付属ハーネスの取り回しを確認し、負荷のかからないように取り付けてください。(写真2、写真5)
- ハーネスはXRモーター、APE共通の為、APEにつけたときはハーネスの長さが余ります。余ってきたハーネスはタイラップ等で必ずまとめて下さい。

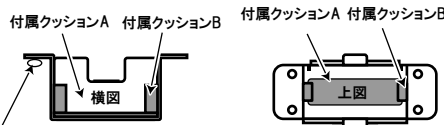
● バッテリーハーネス、カブラ部分にビニールテープで固定してください。

純正レギュレーターに入っているカブラにはロック部分がありますが、キット内付属のバッテリーハーネスの割り込み部分カブラにはロック部分がありません。走行中振動等で、カブラが外れてしまう可能性がありますので、念の為、上からビニールテープ等で巻いていただくようお願いいたします。



バッテリークッションの取り付け

- バッテリーケース両端にパーツクリーナー等で一度脱脂をしてください。
- バッテリークッションAをケース下に貼り付けてください。
- バッテリークッションBをケース横に貼り付けてください。



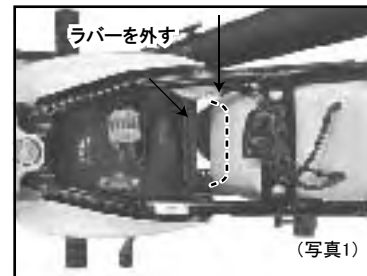
※振動が多い改造車両などはフレーム取付け部分にもクッションを挟み取付けてください

バッテリーケース取付け

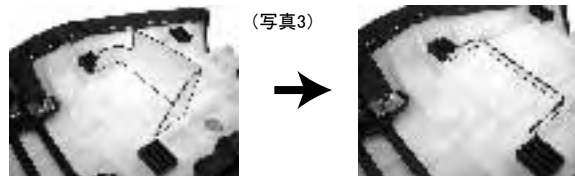
APE50/100の場合

- ノーマルエアクリナーボックスを使用したままバッテリーケースを取付ける場合。(加工が必要です)
- ノーマルシート取り付けボルト左右各1本外し、ノーマルシートを取り外して下さい
- エアクリナーBOX後部についているラバーを外す。(写真1)
- リアフェンダーがバッテリーケースと干渉する為、フェンダー シート下側の部分Aを4cm程度切り落として下さい。(写真1)
- シート裏マッドガード部分を5.5cm、周りと水平になるようにカットします。(写真3)
- アルミバッテリーケースを取り付けます。
- エアクリナーボックスとリアフェンダーとの間に取り付けます。
- ケース搭載位置が決まれば付属タイラップで4ヶ所止めて下さい
- シートを取り付ける際、シート加工がきれいに仕上がっていない場合バッテリーケース取り付けがきつくなる場合がございます。
- ハーネスの断線が無い様に位置の確認をしてからシート裏を削って下さい。

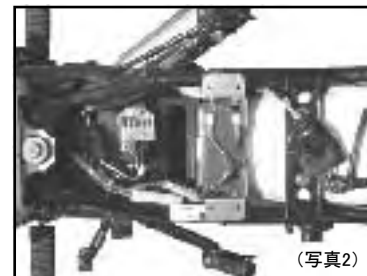
リアフェンダー、点線位置カット



(写真1)



(写真3)



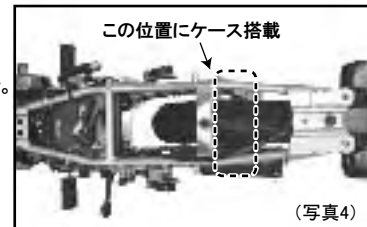
(写真2)

- ノーマルエアクリナーBOXを外してエアフィルターがついている車両の場合。
- バッテリーケースを取り付けるにあたってエアクリナーBOXがなく、(写真1)よりも車両前方にバッテリーケースを取り付けられます。フェンダー、シート裏マッドガード干渉する部分が無い為加工の必要はありません。

XRモーター50/100の場合

- ノーマルエアクリナーボックスを使用したままバッテリーケースを取付ける場合。
- エアフィルターがついておりノーマルエアクリナーボックスを外している車両の場合。
- 純正リア、シールド取り付けボルトを左右各一ヶ所ずつ外しシールドを外します。
- ノーマルシート取り付けボルトを左右2ヶ所外し、シート裏部分固定ナットヶ所を外しシートを外します。
- Apeとは違いシート取り付け、後方部にはめ込みタイラップで4箇所固定します。(写真4)
- バッテリーケースを取り付けるに当たってシート、フェンダーには干渉する部分が無い為、シート裏マッドガード、リアフェンダー共に加工の必要はありません。

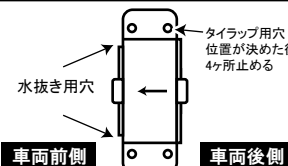
この位置にケース搭載



(写真4)

※ バッテリーケースの取り付けは水抜き除間溝がある方が車両側前方に取り付けて下さい。

※ 取り付け確認後、シートが閉じるか必ず確認して下さい。ハーネスの挟み込みによる断線、エンジン部への接触には充分注意し、ハーネスの取り回しを決定してからバッテリーの取り付けを行ってください。



車両側

車両後側



(写真5)

● マッドガード、オイルキャッチタンクを取り付けている場合

- 当社製マッドガードが付いている場合、マッドガードが無い状態でも取り付ける位置は同じです。
- シート取り付け、後方部にはめ込みタイラップで4箇所固定します。
- 樹脂部分のマッドガードはバッテリーケースの上側に取りまわして下さい。(写真6)
- バッテリーからのハーネスが噛まないように取り回して下さい。



(写真6)

バッテリーの使用注意事項

APE/XRモーターバッテリーキット取扱説明書
商品番号:09-00-0022 09.11.14 3/3



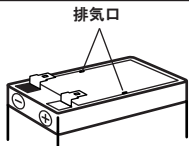
※ バッテリーは放電したまま放置しますと、充電ができなくなります。

放電したままのバッテリーで、電圧が低下し、充電できない状態のバッテリーを車両側で使用し続けると、キーON電源（配線、黒）で作動させている対象物が過電圧壊れます。必ず、12.4V前後ある状態でバッテリーを使用してください。

注意

※ 排気口をふさがらないで下さい。

排気口をふさぎますとバッテリー内部で発生するガスにより、バッテリーの内圧が上がり、電槽の変形や破裂の原因となります。



バッテリーの容量について



● 取り付け推奨

バッテリー消費量と車両側の充電量にバランスが必要です。電力消費量（メーターやインジケータの数）が多すぎる場合、充電がとまらなくなり定期的な走行をした場合でもバッテリーが充電されず、バッテリーの電気が徐々に低下します。よってキーON電源（配線、黒）の先には取り付け目安（上限、8W程度）として2連スピード&タコメーター、インジケータランプ等であればバッテリーの消費よりも充電の方が追いつき、良い状態を保てます。

● バッテリー単体での作動可能時間

充電系ハーネスを外して使用する場合、消費物（メーターやインジケータなど）によって作動時間が異なります。当社製メーターを使用する場合、大体の目安ですが作動可能時間を表記しました。又、バッテリーの状態が悪化してきた場合、作動時間も減少いたします。

・ スーパーマルチLCD (消費電力 約2.0W)	12V1.3Ah ; 約5時間作動可能	・ DNタコメーター (消費電力 約1.0W)	12V1.3Ah ; 約10時間作動可能
	12V0.8Ah ; 約3時間作動可能		12V0.8Ah ; 約6時間作動可能

● 参考、メーター消費電力(ワット数)

品番	品名	最大消費電力(W)
(09-01-0907/0908/0910)	スーパーマルチDNメーター	250mA(3.3W)
(09-01-0801/0804)	スーパーマルチLCDメーター	250mA (3.3W)
(09-01-0057)	64mmラージLCD αメーター	70mA(1.0W)
(09-01-0050)	D-type LCD αメーター	70mA(1.0W)
(09-05-0030)	55mm DNタコメーター	100mA(1.3W)
(09-05-0144)	55mm LCD αタコメーター	70mA(1.0W)
	Ape純正スピードメーター (2W)	140mA(1.8W)
	(XRモーターの場合1.7Wです)	-
	純正ランプ(3W)	220mA(2.9W)

● バッテリーキットはDCホーンの取り付けはできません。

バッテリーの取付け、交換方法

● 取り付け方

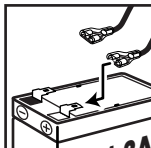
- ・ 十側ターミナルを取り付けます。次に一側ターミナルを取り付けます。
- ・ バッテリーの端子カバー及びバッテリーカバーを取り付けます。
- ※ バッテリー取り付け後、バッテリーの端子・ターミナル部分に腐食防止のためグリスを塗ることをお勧めします。

● 取り外し方

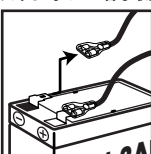
- ・ エンジン止め車両の電気負荷をOFFにし、キーを抜きます。
- ・ バッテリーをハーネスから外す場合初めにアース側（一側）ターミナルを取り外します。
- ・ 次に十側ターミナルを取り外します。

※ バッテリーのショートには必ず気をつけて下さい。液漏れ、引火爆発の原因となります。

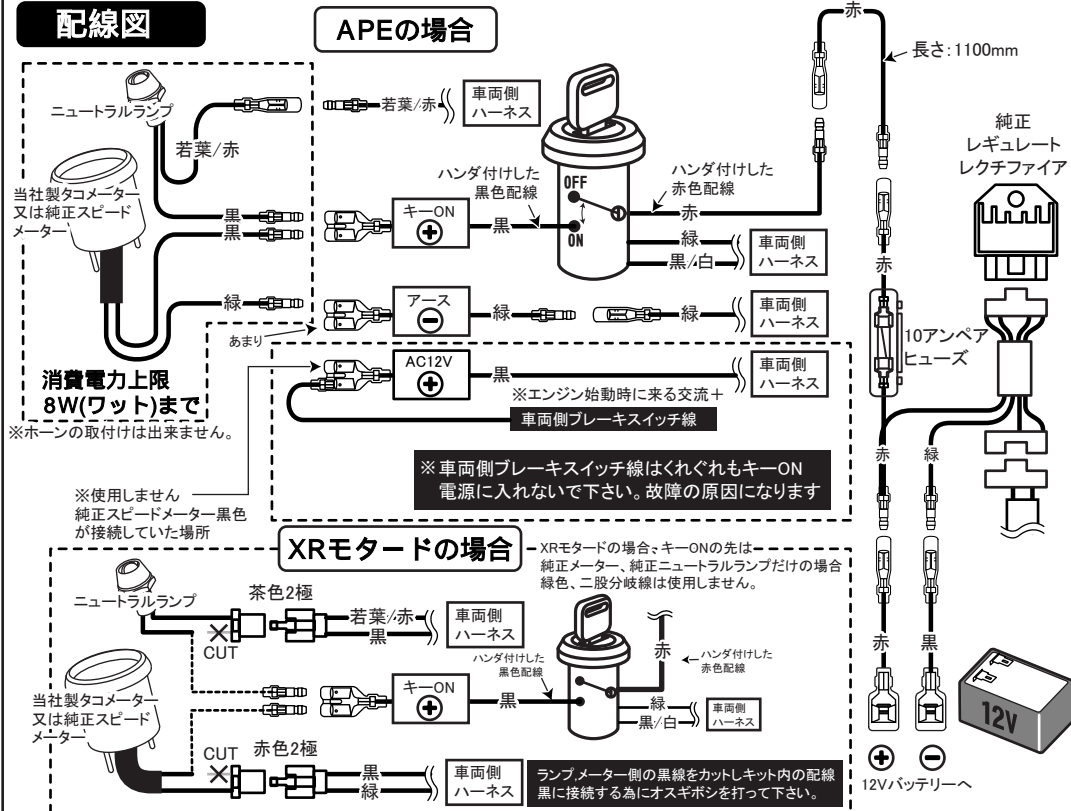
※取り付け時は+端子側から



※取り外し時は-端子側から



配線図



充電について

上の配線図ではキーON電源（黒色）の先はメーターとニュートラルランプを取り付けていますがバッテリーの容量と車両側の充電に限界があるので、消費電力8Wまでが推奨です。



注意

※ ヘッドライトOFFで使用しないで下さい

ヘッドライトを消して走行するとバッテリーが過充電になりバッテリーが破裂、液漏れ等起こします。充電の為にヘッドライトを消しても急速充電にはなりません。バッテリーの寿命を短めてしまうだけです。

※ 車両側の充電能力について

アイドリング状態で車両を放置してもバッテリーの充電はされません。必ずエンジン回転数6000~8000rpm、約20~30分以上走行してバッテリーへの充電機能が働きます。

※ 長期間乗らない場合

・ スーパーマルチDNメーター ・ ミディアムDN[タコorスピード]メーター ・ スモールDNタコメーター
上記のメーターはバッテリー直接[バックアップ用]電源が必要になります。長期間バイクに乗らない場合、徐々にバッテリーの電気が消費されバッテリー上がりを起こす場合があります。1ヶ月以上乗らない場合バッテリーは外しておいて下さい。

○ バッテリーは使用していない状態でも自己放電し、電圧が低下します。バッテリー電圧が11V以下に電圧が低下してしまった場合、密閉式バッテリー専用充電器において充電して下さい。11V以下に低下したバッテリーを車両側で充電した場合、キーON電源（配線、黒）で作動させているメーターが過電圧で壊れます。

※ 小型シールタイプバッテリー専用充電器をご使用して下さい。

容量が少ないバッテリーなので、一般開放型バッテリー用充電器で充電するとオーバー充電になりやすい為、破損や爆発する危険性があります。必ず小型シールタイプバッテリー対応充電器が必要です。

弊社作動確認済 充電器	・ GSユアサ ポータラック充電器 品番：BC-601-12V - 12V0.8Ah~8Ah(20Ah)用充電器
----------------	---